

2017年8月2日

麻布大学 獣医学部長殿

特定非営利活動法人 地球生物会議(ALIVE)
〒160-0008 東京都新宿区三栄町6 オグラビル203号室
TEL:03-5315-4247/FAX:03-5315-4248
E-mail:alive-office@alive-net.net
担当:藤沢

貴大学獣医学部における 動物実験の管理状況と代替法の導入状況について

追加質問

先日は当会の質問書(5月1日付「貴大学獣医学部における動物実験の管理状況と代替法の導入状況について」)にご回答いただき、誠にありがとうございました。

貴大学のご回答(7月11日付)の中で、当会の以下の質問項目(5-1)に対して、「実習中に薬物投与や処置によって動物が死に至る実習は実施されていない。」とのご回答をいただいておりますが、本件につきまして、追加の質問がありますので、お手数をおかけし誠に申し訳ありませんが、FAXまたはメールでも結構ですので、再度ご回答をいただけないでしょうか。ご回答は8月末日までにいただけますと大変助かりますが、夏休み等で難しければ、9月中旬まででも結構です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。(ご回答は公表させていただく予定ですので、ご了承をお願いいたします。)

<当会の質問項目(5月1日)>

5-1. 学生実習において、生きた動物を使った致死性の実習を行うことがありますか？ある場合、実習内容の概要(テーマ)(多い場合は主なもの)と使用動物種をお書きください。

<今回の追加質問> ※貴大学獣医学部としてお答えください。

以下のいずれかにあてはまる学生実習はありますか？ある場合、実習内容の概要(テーマ)(多い場合は主なもの)と使用動物種をご教示ください。(動物は小動物も含む脊椎動物とする。)

- ・生きた動物を安楽死させてから死体を用いる実習
- ・動物を処置(実験)後に安楽死させる実習
- ・動物が処置(実験)の最中に死亡する可能性がある実習

以上